

ふくふく
fuku fuku

ひとりじゃないよ
いつもあなたとともに…



がん治療を支える
サポーター

多職種チームで行うがん治療

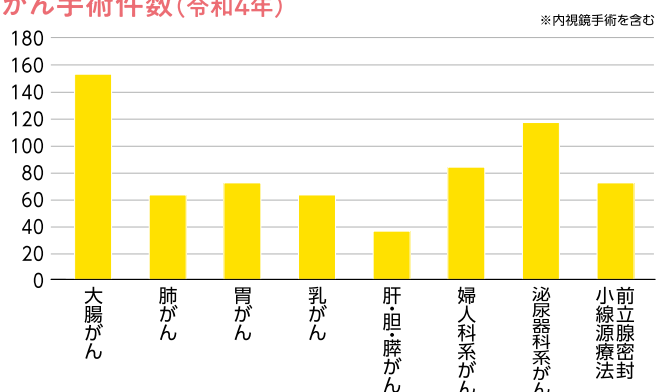
済生会下関総合病院は平成27年(2015年)4月より下関医療圏における地域がん診療連携拠点病院に指定されています。以後9年間にわたり下関医療圏のがん診療向上を目指し様々な役割を担っています。当院がんセンターはその役割を円滑に行うべく拠点病院指定にあわせ当院に設置された組織です。ただ何か特別な建物や部屋があるわけではなく、各部署から人選を行い、協議を重ねながら業務を行っています。主な業務として院内勉強会(下済がんセミナー)・がん患者サロン(ふくふくサロン)・緩和ケア研修会などの開催、がん相談室の運営などを行っています。

当院においては血液癌や骨格系の腫瘍を除くほぼ全てのがんに対する治療が可能です。日々精進し患者さんが安心して受診していただける病院を目指し今後も邁進していきたいと思ひます。

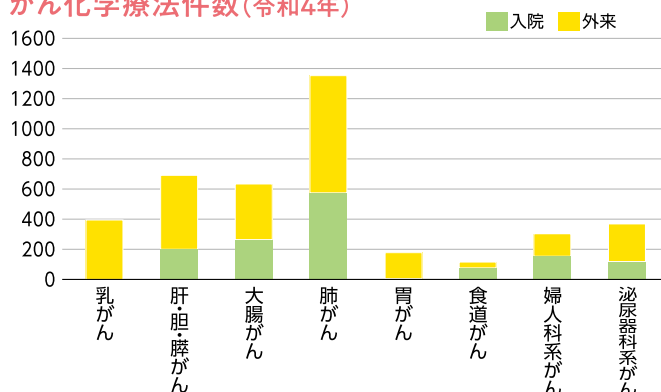
がん治療関連資格取得者数

医師	がん治療認定医	5名
	日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医	1名
	日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR専門医	1名
薬剤師	がん薬物療法専門薬剤師	1名
	外来がん治療専門薬剤師	1名
	緩和薬物療法認定薬剤師	1名
看護師	がん化学療法看護認定看護師	2名
	がん放射線治療看護認定看護師	1名
	緩和ケア認定看護師	2名
	がん性疼痛認定看護師	1名
	乳がん看護認定看護師	1名
栄養士	がん病態栄養専門管理栄養士	1名
	がんリハビリテーション研修会修了者	23名

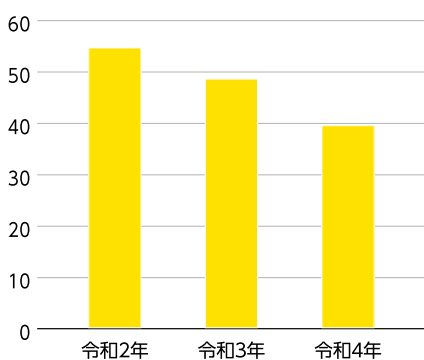
がん手術件数(令和4年)



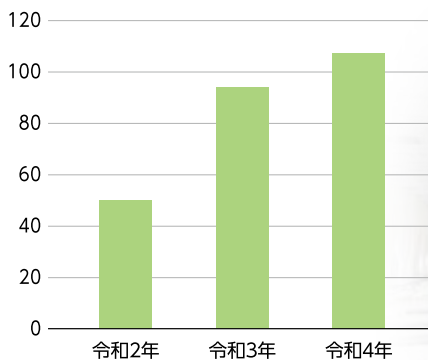
がん化学療法件数(令和4年)



緩和ケア新規介入件数推移



放射線治療件数推移



Cancer treatment



手術療法



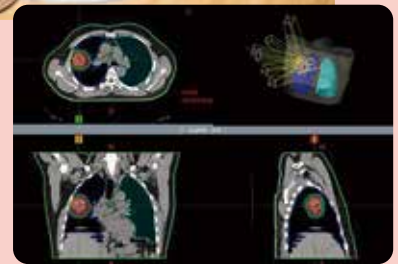
がん治療には手術、放射線治療、抗がん剤治療のいわゆる三本柱がありこれらは三位一体となりながら、患者さんのそれぞれの状況に合わせ適切な治療選択を行なっています。その中でも手術はがん治療において重要な役割を占めています。当院においてがんに対する手術を行なっているのは主に外科・婦人科・泌尿器科・形成外科・皮膚科・脳神経外科などとなっています。

薬物療法



がん薬物療法とは、細胞の増殖を抑制する抗がん剤を用いた治療法です。がんの増殖や成長を遅らせたり、転移や再発を防ぐために用いられます。手術や放射線治療が、がんに対しての局所的な治療であるのに対し、抗がん剤は、より広い範囲に治療の効果が及ぶことを期待できます。効果を期待して行いますが、一定の頻度で副作用が生じることがあるため、主治医だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士などがん薬物療法に精通しているスタッフのサポートを受けて日常生活との両立を目指します。

放射線療法



放射線治療が適応される患者さんはこの20年間で増え続けています。治療の高精度化も進み、治療成績は向上し、副作用の軽減も達成されてきています。当院では、2021年1月より高精度放射線治療機を導入しています。高精度放射線治療とは、定位放射線治療 (SBRT) と画像誘導放射線治療 (IGRT) を意味します。

特殊な治療としては前立腺がんに対する「前立腺がん密封小線源永久挿入療法」を2011年より開始しました。現在、700名以上の患者さんがこの治療を受けています。

緩和ケア



「緩和ケア」とは、がんなどの重い病を抱える患者さんとそのご家族一人ひとりの身体や心などのさまざまな“つらさ”をやわらげ、より豊かな人生を送っていただけるよう支えていくことです。当院では、痛みを含め、がんに伴うさまざまな症状には緩和医療認定医であり、麻酔・痛みの治療の専門医でもある緩和ケア内科医師が治療にあたります。また、緩和ケアチームには、複数の専門職が所属し、協力して患者さんのつらさの緩和します。

Palliative care

緩和ケアチーム



症状かんわ外来

月・木曜日の午後
完全予約制で診療を行っています。



神経ブロックの様子

専門医師による、神経ブロックで
難治性の疼痛コントロールを行います。



緩和ケアチームラウンド

入院患者さんの状態を病棟スタッフと情報共有し、多職種で患者さんにとって
ベストな支援ができるよう話し合いを行っています。



Consultation support

がん相談支援センター

アピアランスケア

がん治療に伴う外見（アピアランス）の変化に対する支援を行います。ウィッグや助成金などの案内と共に心理面でもサポートしています。



就労支援

患者さんが治療を続けながら働くことができるための相談窓口です。社会保険労務士、ハローワークの就職ナビゲーターが対応します。



ふくふくサロン

患者さんや御家族が集い、お互いを支え合う場所です。居心地よく、ホッと一息つける出会いの場を提供します。

がん地域連携フリティカルパス

開業医の先生方と医療連携し、患者さんの治療経過を共有しながら安心で質の高い医療の提供を目指します。



がん患者さん・ご家族のための
ふくふくサロン
 FUKU FUKU SALON

がん患者さんや家族の方が「語りの場」として「ふくふくサロン」を開催しています。

開催日 令和6年4月10日水・5月8日水・6月12日水
 時間 13:00受付～15:00 場所 2階会議室
 費用 無料(駐車料金含む) 対象 がん患者、その他ご家族(通院、入院、他院問わず)
 お問い合わせ 治療と仕事の両立支援の相談窓口 がん相談支援センター(直通)083-262-2332



治療と仕事の両立支援の相談窓口

日時 毎月第3金曜日 10:00～13:00
 場所 1階ロビー (インフォメーションでお声をかけてください)

産業保健総合支援センター相談員が休みのとり方、会社との付き合い方、治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも無料で相談することができます。

地域医療支援研修会 (令和6年4月～6月) <時間> 18:00～19:00 / <場所> 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
4月 25日(木)	令和6年度令和診療報酬改定における管理栄養士業務の現状とこれからについて	管理栄養士 小島 祥子
5月 23日(木)	放射線療法の基本知識	放射線看護認定看護師 倉富 彰
6月 27日(木)	感染症と人権問題	感染管理認定看護師 國弘 健二

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい)
 ※参加される方はマスク着用をお願いします。

健康講座の予定 (令和6年4月～6月) <時間> 10:00～10:30 / <場所> 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
4月	3日(水) NEW 遺伝性乳がんについて	乳がん看護認定看護師 日高由衣子
	10日(水) NEW 加齢によるもの忘れと認知症の違いについて	認知症看護認定看護師 浅井 俊行
	17日(水) NEW オストメイトの災害対策～具体的な備え、行動について一緒に考えましょう～	皮膚排泄ケア看護認定看護師 山本 真子
	24日(水) 赤ちゃんの五感の発達	新生児集中ケア認定看護師 安田 さくら
5月	1日(水) NEW がん新12カ条について	がん化学療法看護認定看護師 生田 香織
	8日(水) 喫煙と手術	手術看護認定看護師 丸岡 聖路
	15日(水) 緩和ケアってどんなことするの?	緩和ケア認定看護師 柴田 敏子
	22日(水) NEW 活動と睡眠について～認知症の視点より～	認知症看護認定看護師 吉永 奈央
	29日(水) 心筋梗塞や弁膜症の治療について	集中ケア認定看護師 前田 友美
6月	5日(水) 緩和ケアを知っていますか?～がんの診断時から始まる緩和ケアについて～	緩和ケア認定看護師 山本 千春
	12日(水) NEW 知っておきたい脱水について	腎不全看護認定看護師 高橋 美希
	19日(水) 赤ちゃんの変化	新生児集中ケア認定看護師 米村 幸子
	26日(水) NEW 血管をきれいにして心臓を守ろう	慢性心不全看護認定看護師 山口 健二

教室・相談のお知らせ (令和6年4月～6月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	4月5日(金)・19日(金)、5月17日(金)、6月7日(金)・21日(金)	13:30～14:00	会議室(2階)	無料	栄養管理科
なんでも相談窓口	4月・5月・6月(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス(予約制)	第1・第3木曜日	13:30～15:00	会議室(2階)	500円	4階東病棟

おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。

診療実績報告 (令和5年11月～令和6年1月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
令和5年11月	15,437人	9,737人	845人	10.72日	322件	803件
令和5年12月	14,854人	10,613人	875人	10.92日	391件	755件
令和6年1月	14,878人	10,892人	935人	11.27日	358件	770件

基本理念

「心のかよふ質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します
 よりよき医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します
 職員の協働活動のため、よりよき環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

- 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
- 病気・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
- 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。また、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
- 所定の手続きをおとりにることにより、ご自分の診療録の開示をお求めになることができます。
- 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
- すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
- 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
- 医療費を支払う責務があります。